

特色ある読書推進活動の紹介

【国見町子ども司書フェスタ】

訪問日：平成31年4月27日（土）13：00～15：30

場 所：国見町観月台文化センター

内 容：本の交換会、おはなし会、本の貸出・返却、本の補修、
カフェの開設、子ども司書活動の紹介 等

国見町子ども司書は、子どもの読書活動を推進するリーダーとして、読書の素晴らしさを伝え、本と人との結びつきを手助けする活動を行っています。今回の司書フェスタを開催するにあたり、子ども司書のメンバーは様々なアイデアを出し合いました。本の交換会、おはなし会、本の貸出・返却、本の補修、カフェの運営、子ども司書活動の紹介等、どの企画も子ども司書のアイデアを生かした充実した内容になっていました。小中学生はもとより、子ども司書OBの高校生や地域の大人、就学前の幼児やその保護者など町内外から多くの方々が来場し、本の楽しさや魅力を味わっていました。



【子ども司書の声】

- （本の補修をしていると）たくさんの方が、この本をいっぱい使ってくれたんだと思います。一生懸命に直そうと思います。
- ポップ作りは、その本の一番いいところを伝えられるのがいいです。（ポップで紹介した）本を、いろいろな人の手に取ってもらえるといいと思います。
- 家で寝る前に読み聞かせをやってもらっていました。だから、本が好きになりました。本に触れ合える子ども司書の活動はとても楽しいです。

【参加者の声】

- 本の交換会のような企画はとても良いと思います。PTAの活動でも、やってみるのもいいと思いました。今日、交換した本をさっそく家で読んでみます。
- たまたま寄ったら、素晴らしい企画をやっていてびっくりしました。子どもも読み聞かせを聞くことができ喜んでいました。親子でいい時間過ごすことができました。

子ども司書を子ども扱いしないで、本の補修やポップ作り、貸出・返却業務などの活動を任せていました。子どもたちも任された仕事を責任をもって行っています。これはひとえに、それまでの指導が系統的・組織的に行われているから可能になるのだと思います。また、子どもたち同士が教え合い、学び合って、自発的に活動できる下地があるからできるのだと思います。国見町では毎年15～16人の子ども司書が新たに誕生するそうです。町をあげて継続的に読書の啓発を行っていることが本を好きな子どもの姿につながっているのだと、子どもたちの姿を見て強く感じました。

